

新青梅図書館(仮称)基本設計概要書への意見について(パブリック・コメント実施結果)

募集期間:令和8(2026)年5月1日~5月14日(14日間)

対象者:市内在住・在勤・在学の方、市内に事務所または事業所を有する方 など

提出方法:郵送、ファックス、専用フォーム、持参

提出者数:34人(34件)

| No. | 意見 | 市の考え方 |
|-----|---|---|
| 1 | <p>【感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑が多く外のスペースがあるのが好ましいです。多摩産の材木もコンセプトに合っていてよいです。 ・カフェ軽食コーナーの設置も嬉しいです。 ・街道沿いかつ駅近の好立地で、今から新たな地域のハブ施設になる期待が膨らみます。 <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子、ベビーカー、杖をつく人、目の見えにくい人、耳の聞こえにくい人、付き添いが必要な人、日本語がわからない人、性別を固定しない人等々、様々な属性の来館者を受け入れ、また気持ちよく過ごせる場所であってほしいと思います。 ・カフェおよび軽食スペースには、市役所の「カフェだんだん」のような運営が入る時間を設けるとよいのではと思います。 ・自販機も設置してください。 ・椅子は多めにほしいです。一時荷物を置ける程度の台でも構いません。気軽に一息つける場所はいくらあっても困りません。 ・館内でクラシックなりボサノバなどのBGMを流してほしいです。まったくの無音はかえって物音や声が響き、圧迫感があります。ナクソスミュージックライブラリーからショパンやモーツァルト、サティなどは選べないでしょうか。 ・屋上テラスには、韓国ソウル市の信号待ち傘のようなパラソルがあると、夏日でも過ごしやすいかと思います。 ・LEDの明るさは中央図書館程度で、夜間に窓際の奥や端にやや暗がりを残す光量がいいです。未就学児や小学生には、半分隠れ家になる場所があると落ち着くタイプもいるかと思います。これは成人も同様です。 | <p>新しい図書館では、青梅駅周辺のシンボルとなるよう、こどもから高齢者、地域住民から観光客まで、誰もが交流し、心地よく滞在できる居場所を目指しています。設計に当たっては、この点を踏まえ、異なる世代や背景を持つ人々が使いやすい施設・サービスになるよう検討していきます。</p> <p>また、既存の図書館とは違い館内でのBGM再生や大声にならない会話を認めることで、居心地の良い空間を創出したいと考えています。</p> <p>カフェ・軽食ショップについては、居心地よく滞在できる居場所を創出するため、必要な機能と考えています。しかし、これまでに行ったカフェ事業者等へのヒアリングでは、採算性の観点から出店が厳しいという意見も寄せられました。今年度行う実施設計では、改めてカフェ事業者等へのヒアリングを行うほか、近隣店舗の状況を踏まえ、無人のセルフカフェ方式を含めた出店の実現性や継続性について、幅広く検討していきます。</p> <p>その他の内装設計や管理運営等に関する御意見については、現在検討中のため、参考とさせていただきます。</p> |
| 2 | <p>青梅駅前に新しく、多くの人を訪れる図書館が整備されるとのことで、まちの活性化に寄与し、青梅駅前の中心的な施設となることを想像しており、今からたいへん楽しみにしております。新しい青梅の図書館整備に関してご意見させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カフェ機能が導入される予定とのことで、この施設の1階には店舗も入っておりますし、周辺には魅力的なお店も立地しております。なので、そういったお店との連携を高め、より魅力的な空間、より良い施設として整備いただきたいです。 ・図書館内に整備されるキッズスペースについてですが、周辺には教育機関が多数立地しており、また建物内のマンションには子育て世代の方も多く入居されていると思います。スペース自体を十分に確保いただくとともに、定期的なメンテナンスや機能の更新など、一時的な整備だけでなく、長く利用いただき、変化を感じることができるスペースとしていただけますと幸いです。 ・また、近年ほかの自治体では、書籍の貸し出しではなくデジタル書籍の活用や、外部からの自習席の予約システムの導入など、変化の激しい時代の中で、より柔軟に対応できるような図書館の機能やシステムを導入している事例も見受けられます。書籍の貸し出しを待たない、確実な利用ができるような施設になることで、多くの方に満足して利用いただける施設になると感じましたので、ご検討いただければいかがでしょうか。 ・駐車場や駐輪場についてですが、近隣にはコインパーキングをはじめ、駐車・駐輪場も整備されておりますので、官民の連携としても、そこを積極的に利用しながら、図書館だけでなく周辺の商店をまちあるきしながら楽しめるような仕組みづくりもご検討されると、町としてもよいと感じました。その際、周辺自治組織との連携の充実が、まちの活性化にも寄与するのではないかと推察します。 ・青梅駅周辺では、ご周知のとおり、青梅大祭や花火大会、だるま市等多くのイベントが行われ、来街者もすごい数になりますので、その際の図書館の管理・運営については、十分に地域へのご配慮をお願いいたく存じます。 <p>意見については、以上となります。今後とも青梅駅前がよりよい場所となるよう、官民の連携したまちづくりを目指していけるとよいと感じました。</p> | <p>カフェ・軽食ショップについては、居心地よく滞在できる居場所を創出するため、必要な機能と考えています。しかし、これまでに行ったカフェ事業者等へのヒアリングでは、採算性の観点から出店が厳しいという意見も寄せられました。今年度行う実施設計では、改めてカフェ事業者等へのヒアリングを行うほか、近隣店舗の状況を踏まえ、無人のセルフカフェ方式を含めた出店の実現性や継続性について、幅広く検討していきます。</p> <p>新しい図書館では、利用者の利便性向上や施設運営の効率化を実現するため、デジタル技術を活用し、タブレットを用いた新聞・雑誌等の閲覧サービスの導入や、閲覧席や学習室の座席、グループ学習室などの予約が簡単に行えるシステムの整備を検討していきます。</p> <p>また、多様な人々が集い、交流を深める居場所として、「まちの活動が集まる場」、「人とまちをつなげる場」となることを目指しています。周辺で開催されるイベントや近隣店舗の状況等を把握し、それらとの連携についても検証していきます。</p> <p>その他の内装設計や管理運営等に関する御意見については、現在検討中のため、参考とさせていただきます。</p> |

| No. | 意見 | 市の考え方 |
|-----|--|--|
| 3 | <p>青梅に引っ越してきたばかりですが、現在の青梅図書館を利用し、地域の大切な公共施設だと感じています。新しい図書館がより気軽に本に触れられる環境になることをとても楽しみにしています。</p> <p>小さな子ども連れでは館内で長時間読むことが難しく、自宅で読める貸出サービスはとても重要です。館内でゆっくり読書できる空間や、多目的に利用できるスペースを充実させる取り組み自体は良いことだと感じています。</p> <p>その一方で、現在の青梅図書館は約5万冊の蔵書があり、地域住民が日常的に本に触れられる場所として親しまれてきたことと思います。新施設では蔵書数が約2万冊になると伺い、蔵書規模が大きく減ってしまうことに不安があります。</p> <p>新しい機能や空間づくりを進めつつも、できる限り多くの蔵書を維持し、貸出機能を継続していただけることを希望します。</p> | <p>既存の図書館では、人気のある本については、2年以上の順番待ちが発生し、読みたくても読めないという課題があります。新しい図書館では、館内にある図書について貸出は行わず、その場で読んでもらう仕組みとすることで、そのような人気本にも出会える場としています。</p> <p>また、他館蔵書の予約・受取・返却を行えるようにすることで、利用者の利便性を保ちつつ、より魅力ある図書館になると考えています。</p> <p>蔵書については、誰もが心地よく滞在できる居場所となるよう、利用者のニーズを想定し新たに選書していきます。施設面積の関係から館内の蔵書数は2万冊としておりますが、予約取寄せサービスを活用することで、市内にある約63万冊を借りることができます。</p> <p>新しい図書館では、これまでの図書館とは、異なるコンセプトでの蔵書構成やサービス展開となりますが、中央図書館や他の分館といった市内にある図書館全体で、利用者の利便性やサービス水準の向上に努めていきます。</p> |
| 4 | <p>コンセプトは札幌の図書館を参考にしており、いいと思います。</p> <p>内装について、この図書館の顔となるような目を引くものがあるといいと思います。今の内装の計画、ありきたりな感じがしてしまいます。</p> | <p>御意見については、実施設計や管理運営の参考とさせていただきます。</p> |
| 5 | <p>旧来の、どちらかといえば「資料庫」という図書館のイメージにとらわれない、新しいスペースとなりそうでとても楽しみです。蔵書に関して意見を言わせてください。資料庫としての役割は中央図書館や都立図書館に任せて、住民目線に立った、新聞・雑誌や新刊小説、話題のビジネス書、新書など幅広く需要のある本に特化した図書館にしてほしいと思います。よろしくをお願いします。</p> | <p>蔵書については、誰もが心地よく滞在できる居場所となるよう、利用者のニーズを想定し新たに選書していきます。</p> <p>御意見については、蔵書構成の参考とさせていただきます。</p> |
| 6 | <p>都市型図書館の方向性は官民一体型のCCC(カルチャ・コンビニエンス・クラブ)スタイルだと考えます。世代の交代はIT社会を抜きには語れません、私は蔵書ありきの図書はもはや国立図書館レベルだけで十分であり、如何に地域密着型であり常に情報発信基地として新たな学びと気づきを感じる体験の場所が新たな図書館像だと思います。</p> <p>古くは、代官山蔦屋書店に新たな空間を楽しむ本屋として感動し今でも情報と非日常を求めて通っております。二番煎じかもしれませんが、海老名市立中央図書館などがこの度の青梅市新図書館像として近い形であると思います。</p> <p>こちらの構成を更にブラッシュアップして行く事が良い事かをご提案させていただきます。</p> | <p>新しい図書館では、蔵書構成や館内の雰囲気や既存の図書館とは異なるものにする事で、地域住民を含む誰もが交流し、心地よく滞在できる居場所にしたと考えています。</p> <p>また、地域の魅力や観光情報を発信することで、青梅への関心を高めるとともに、地域住民にとっては自身の知らない青梅を知るきっかけとなり、観光客にとっては青梅のファン、リピーターになってもらうことで、青梅とつながるきっかけを作りたいと考えています。</p> <p>御意見については、実施設計や管理運営の参考とさせていただきます。</p> |
| 7 | <p>カフェ計画について概ね賛成です。明るい日差しの下開放的な環境の中ゆっくりお茶を飲めたり本を読める。これこそ待ち望んでいた図書館です。ただカフェを図書館利用の市民以外の人々にも開放できたらと考えます。エリアを分けて読書の邪魔にならない工夫は必要ですが、格安な値段設定も希望します。駅前にカフェの少ない青梅に、誰もが気軽に立ち寄れる図書館をお願いします。</p> | <p>新しい図書館では、青梅駅周辺のシンボルとなるよう、こどもから高齢者、地域住民から観光客まで、誰もが交流し、心地よく滞在できる居場所を目指しています。</p> <p>カフェ・軽食ショップについては、居心地よく滞在できる居場所を創出するため、必要な機能と考えています。しかし、これまでに行ったカフェ事業者等へのヒアリングでは、採算性の観点から出店が厳しいという意見も寄せられました。今年度行う実施設計では、改めてカフェ事業者等へのヒアリングを行うほか、近隣店舗の状況を踏まえ、無人のセルフカフェ方式を含めた出店の実現性や継続性について、幅広く検討していきます。</p> |
| 8 | <p>青梅図書館を移転するという事は、今の青梅図書館を閉館し、本町のマンション2階に青梅地区の図書館が開設されるものとして、意見します。</p> <p>①開架の本は貸出さない、閲覧のみの図書館は反対です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な機能をもつ図書館が、地区に最低一つは必要と考えます。 ・図書館サービスを提供するのは、青梅地区の住民に対する行政の責任です。 ・とりわけ乳幼児から子どもに対するサービス、あたりまえの図書館の児童サービスを受ける権利を保障してください。 ・読んでみたい本、疑問に思ったことや知りたい事柄について調べたい本を、書架をめぐって見つけ出して(または図書館員に探してもらって)借りて帰る。そんなあたりまえの事ができる図書館にしてください。 <p>②本と子どもを結びつける技能を持つ図書館職員を必ず配置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童サービスは図書館のサービスのなかでは特に重要です。 ・子ども時代にお話を聞き、物語を読み、楽しみの中で獲得したものは、相手を思いやる想像力や自分の言葉で考える思考力など、成長を促し、様々な事象に対応する力となると言われています。 ・子どもに本を渡す術をもつ人が、図書館には必須です。 <p>③青梅図書館が中央図書館だった頃から毎月開催されている子ども向けの「おは</p> | <p>既存の図書館では、人気のある本については、2年以上の順番待ちが発生し、読みたくても読めないという課題があります。新しい図書館では、館内にある図書について貸出は行わず、その場で読んでもらう仕組みとすることで、そのような人気本にも出会える場としています。</p> <p>また、他館蔵書の予約・受取・返却を行えるようにすることで、利用者の利便性を保ちつつ、より魅力ある図書館になると考えています。</p> <p>新しい図書館では、青梅駅周辺のシンボルとなるよう、こどもから高齢者、地域住民から観光客まで、誰もが交流し、心地よく滞在できる居場所を目指しています。これまでの図書館とは、異なるコンセプトでの蔵書構成やサービス展開となりますが、中央図書館や他の分館といった市内にある図書館全体で、利用者の利便性やサービス水準の向上に努めていきます。</p> <p>その他の内装設計や管理運営等に関する御意見については、現在検討中のため、参考とさせていただきます。</p> |

| No. | 意見 | 市の考え方 |
|-----|--|--|
| (8) | <p>なし会」、おはなし会の開催に適した環境と場所のスペースを設計に組み込んでください。</p> <p>④キッズ読書コーナーの人工芝は、清潔を保てるとは思えないので反対です。</p> <p>・子どもは、床に手をついた後に口をさわる、よだれをたらす、おもらしをする、とつぜん嘔吐する・・・ものです。</p> <p>・通常の清掃のほかにも、アルコール等で洗浄する場合も想定すると、人工芝は適さないと思います。</p> | |
| 9 | <p>【意見の趣旨】 新図書館の計画は、映像を含め非常に分かりやすく、市民として大きな期待を抱いています。この素晴らしい施設を、より「青梅らしさ」を感じられる質の高い空間にするため、内装デザインの統一感と木質化によるブランディングの強化について提案いたします。</p> <p>【具体的な意見と提案】</p> <p>1. 構造柱のデザイン統一と多摩産材の活用について 設計概要では円柱がグリーンで装飾されている一方、四角い構造柱がグレーの無機質なまま残されているように見受けられます。 青梅の豊かな自然や「森の緑と木々のぬくもり」というコンセプトをより鮮明にするため、これらの四角い柱にも多摩産材を用いたルーバー装飾や板張りを施すことを提案します。視界に入る柱に木材を取り入れることで、空間全体の統一感が増し、「木のまち・青梅」としての力強いブランディングにつながると考えます。</p> <p>2. グループ学習室の空間演出と環境整備について(静のエリア映像 1:25～1:40付近) 映像内のグループ学習室は、機能的ではありますが、やや無機質な会議室のような印象を受けます。図書館という創造的な場所において、無機質な空間では新しいアイデアや活発な対話が生まれにくい懸念があります。 ここにも部分的に多摩産材を配置するなど、温かみのある木質系デザインを導入してください。青梅市役所2階の「ゆ～すはぶ」のような、子供たちがリラックスして共に学べる上質な空間を目指すことで、利用者にとっての居心地の良さと、創造性を刺激する環境が両立できるはずです。</p> <p>3. トータルブランディングの重要性について 部分的な装飾に留まらず、建物全体で「青梅の環境」を感じられるトータルブランディングを徹底していただきたいです。細部まで一貫した世界観を作り込むことが、将来的に市民の誇りとなり、市外からも人が訪れる「選ばれる図書館」になるための鍵になると確信しています。</p> <p>【結びに】 予算等の制約もあるかと存じますが、次世代に残る青梅の象徴的な拠点として、さらなるブラッシュアップを期待しております。</p> | <p>新しい図書館では、誰もが心地よく滞在できる居場所となるように、木のぬくもりが感じられる多摩産材の利用を検討しています。</p> <p>御意見については、実施設計や管理運営の参考とさせていただきます。</p> |
| 10 | <p>現在青梅図書館を、インターネットで予約した本を受け取り、返却して大変便利に利用しています。青梅地域に住む読書愛好家としては、新青梅図書館では、本館の貸し出しはないとのこと心配になりました。しかし、基本概要書を拝見するとインターネット予約で、他館から取り寄せた本の貸し出しと返却は新青梅図書館でも可能と理解し、安堵いたしました。どうぞ、この点に付きましては新図書館でも継続していただきますように、お願いします。</p> <p>また、当図書館での蔵書は幅拾い分野の新刊本を取り入れていただきますように期待しております。</p> | <p>既存の図書館では、人気のある本については、2年以上の順番待ちが発生し、読みたくても読めないという課題があります。新しい図書館では、館内にある図書について貸出は行わず、その場で読んでもらう仕組みとすることで、そのような人気本にも出会える場としています。</p> <p>また、他館蔵書の予約・受取・返却を行えるようにすることで、利用者の利便性を保ちつつ、より魅力ある図書館になると考えています。</p> <p>新しい図書館の蔵書については、誰もが心地よく滞在できる居場所となるよう、利用者のニーズを想定し新たに選書していきます。</p> |
| 11 | <p>青テラスの駅前通り側の植栽について、現状では一般的な種類の植物が植えられています。青梅駅は青梅の玄関口でもあり、梅の木に変更されてははいかがでしょうか？</p> | <p>市が管理している部分ではないため、回答は控えさせていただきます。</p> |
| 12 | <p>カフェを伴う「動」のスペースがある図書館、とてもよい計画だと思いました。</p> <p>駅前に飲食店が少ないため、電車やバスを待つ観光客が行き場に困るという話も聞くので、市外の人でも利用できるという点も、駅前という立地を活かしてニーズに応える案だと思います。</p> <p>私が受験生だった頃、青梅図書館の2階でよく勉強したので、中高生のための学習スペースを充実させることにも大賛成です。</p> <p>子どもが小さい頃に青梅図書館によく行きましたが、一緒に読めるスペースが暗く、あまり居心地がいい場所ではなかったので、キッズ読書コーナーもいいですね！</p> <p>ただ、いくつか懸念点がありますので、以下箇条書きにいたします。</p> | <p>既存の図書館では、人気のある本については、2年以上の順番待ちが発生し、読みたくても読めないという課題があります。新しい図書館では、館内にある図書について貸出は行わず、その場で読んでもらう仕組みとすることで、そのような人気本にも出会える場としています。</p> <p>また、他館蔵書の予約・受取・返却を行えるようにすることで、利用者の利便性を保ちつつ、より魅力ある図書館になると考えています。</p> <p>専用の駐車場および駐輪場については、青梅駅前の好立地ということもあり設けていません。来館いただく際は、公共交通機関の利用を促進するとともに、近隣の民間駐車場や青梅駅自転車等駐輪場の利用を案内していきます。</p> |

| No. | 意見 | 市の考え方 |
|------|--|---|
| (12) | <p>①本を貸し出さない理由がわかりません。</p> <p>とくに子育て中に図書館の本をたくさん借りて、子どもと毎晩読んでいたので、借りれないのは残念です。予約した本の貸出、返却は可能とのことですが、図書館で本を選んで借りる人は多いです。とくに子どもの本は、子どもが選ぶ楽しみもあり、その場で借りて家でも読めるワクワク感がなくなってしまいます。</p> <p>②駅前とはいえ、青梅市内の人が利用する場合、駐車場がないと困ります。</p> <p>その点、いまの青梅図書館は駐車場があり、青梅一小の子どもと保護者の待ち合わせによく利用されていました。</p> <p>それらを解決する方法として、以下を提案いたします。</p> <p>①本を借りれるようになるのが一番ですが、難しいなら、古本をリサイクルしてはどうでしょうか？</p> <p>とくに子どもの本は、子どもが成長すると読まなくなり、かといって処分するのも寂しいものです。なので、読まなくなった本を提供し、それを持ち帰れるサービスを取り入れることを提案します。(ボロボロ、汚れが目立つ本は受け入れないようにすれば、処分に追われることは防げると思います)</p> <p>②いまの青梅図書館は閉架として使用するのでしょうか？壊すのでしょうか？</p> <p>いずれにしても、あの場所を駐車場として残してはどうでしょうか？あそこに駐車して、親子で駅前の図書館まで歩いて利用できれば、利用が増えると思います。</p> <p>市民はもちろん、青梅を訪れる人にとっても憩いと学びのスペースになることを期待しています。ご検討いただけますようお願いいたします。</p> | <p>その他の管理運営等に関する御意見については、現在検討中のため、参考とさせていただきます。</p> |
| 13 | <p>とても良い計画だと思います。老若男女誰でも利用できる図書館は多くの住民にとって憩いの場になるはずで、完成を楽しみにしております。</p> | <p>新しい図書館では、青梅駅周辺のシンボルとなるよう、こどもから高齢者、地域住民から観光客まで、誰もが交流し、心地よく滞在できる居場所を目指しています。</p> <p>早期に開館できるよう丁寧かつ着実に事業を進めていきます。</p> |
| 14 | <p>図書館は、単なる「本を貸す施設」ではなく、その地域の文化水準や知的風土を映す“市民文化の鏡”だと考えます。</p> <p>新しい図書館には、利便性や話題性だけでなく、「青梅らしさ」を大切にしたい蔵書構成と空間づくりを期待します。近年は利用者数を重視するあまり、ベストセラーや流行書に偏った蔵書構成になりがちですが、公立図書館にはそれだけではない役割があります。青梅の歴史、自然、林業、養蚕、川や山の文化、多摩地域の民俗、地域ゆかりの作家や芸術家、郷土資料など、地域の記憶を次世代へ残していくことこそ、市立図書館の大切な使命だと思います。</p> <p>また、子どもたちが「青梅という土地」に誇りや興味を持てるよう、地域文化に触れられる蔵書や展示を充実させてほしいです。全国どこでも同じような図書館ではなく、「青梅だからこそ存在する図書館」を目指していただきたいと思います。</p> <p>さらに、静かに読書や調べものができる落ち着いた空間づくりも重視していただきたいです。イベント性や商業施設的なにぎわいだけでなく、市民が長く知的に滞在できる公共空間として整備されることを望みます。</p> <p>新図書館が、未来の青梅市民にとって誇れる文化拠点となることを期待しています。</p> | <p>新しい図書館では、これまでの図書館とは、異なるコンセプトでの蔵書構成やサービス展開となりますが、中央図書館や他の分館といった市内にある図書館全体で、利用者の利便性やサービス水準の向上に努めていきます。</p> <p>また、誰もが心地よく滞在できる居場所とするため、既存の図書館とは違い館内での BGM 再生や大声にならない会話を認めることで、居心地の良い空間を創出したいと考えています。</p> <p>一方で、静かに学習や閲覧を行いたいというニーズもあることから、専用の諸室を設けるとともに施設全体のゾーニング、ルール作りを行っていきます。</p> |
| 15 | <p>静に本を読むだけのスペースではなく、飲み物を飲みながら本を開くといったゆったりと過ごせる空間は良いと思います。特にここ最近の夏の酷暑に際しての避難場所にも良いかなと思いました。</p> <p>また、地域のイベントと組んだ活動がうまくできると良いと思います。懸念点としては青梅大祭のような大きなイベント時にどうするかです。マナーを守れない方も多く来ていると思いますので、休館とするのか、入館時に何らかのチェックを入れるといったことが必要かと思っています。</p> | <p>新しい図書館では、イベント・交流機能も持たせることで、イベント等を目的に来た方に対しても、本との出会いを作っていきたいと考えています。</p> <p>御意見については、管理運営の参考とさせていただきます。</p> |
| 16 | <p>とても素晴らしい施設が出来るようでとても楽しみです！</p> <p>青梅市内の図書館は小学生の頃から利用していて、老眼が進んできた今も読書が趣味です。河辺にある中央図書館は新しいものから古いものまで蔵書がたくさんあり、つついり浸ってしまう程なのですが、無料の駐車場がないため、周辺の商業施設での買い物のついでにしか行きません。新青梅図書館も、たくさんの方が気軽に利用できる様に、無料で利用できる駐車場があることを切に願います。</p> | <p>専用の駐車場および駐輪場については、青梅駅前の好立地ということもあり設けていません。来館いただく際は、公共交通機関の利用を促進するとともに、近隣の民間駐車場や青梅駅自転車等駐輪場の利用を案内していきます。</p> |
| 17 | <p>兎角忘れがちであるが、図書館とは本を読む場所である。その視点に立つと理解できると思うが、いずれのエリアにしろ書架が少なすぎる。</p> <p>そも青梅分館自体蔵書が少なく、本を読むのであれば中央図書館へ誘導したい向きもあるのかもしれないが、それにしても本へのアクセスが閉ざされすぎている。</p> <p>この書架の数で蔵書数2万と言うからには、倉庫に大量の本を仕舞い込むことと思う。一般利用者が、わざわざ閉架の本をリクエストするだろうか？</p> | <p>新しい図書館では、蔵書構成や館内の雰囲気も既存の図書館とは異なるものにするので、誰もが交流し、心地よく滞在できる居場所になりたいと考えています。このため、館内にカフェやイベントスペースを設置し、落ち着ける雰囲気の BGM を流すことで、これまでの図書館にない居心地や交流機会を提供したいと考えています。また、イベント・交流機能も持たせることで、イベント等を目的に来た方に対しても、本との出会いを作っていきたいと考えています。</p> |

| No. | 意見 | 市の考え方 |
|-----|--|--|
| 17 | <p>書架の数は即ち手に取ることのできる本の数に他ならない。角も著しく総覧性に欠いて、利用者の権利を阻害しないと言えるのだろうか？図書館の自由に関する宣言をもう一度読み返して考え直してほしい。</p> <p>徒歩圏内に S&D たまぐーもある。会議室やイベントスペースをこの図書館に併設しなければいけない理由は何か？図書利用者とそれらを利用する層はオーバーラップしないだろう。書評合戦的な交流を行いたいのであれば、それこそ椅子と机があれば良い。</p> <p>来館者を増やそうというのなら、すでに Wi-Fi があるのだし、十分に席数を確保し、しかし集団で屯するスペースは(テラス以外に)作らないレイアウト、デザイン性に優れる多少の什器と備品があれば良いのではないか。</p> <p>またカフェスペースは継続的に操業できるだろうか？近所にはコンビニ(セブンイレブン)もパン屋(幸せの葉っぱベーカリー)もある。同じ建物内に中華料理もクレープもある。付近に何も無い S&D たまぐーに飲食店を置くのとは訳が違う。現在の青梅分館の来館者数も加味し、一体どれほどの人数がカフェの利用をすると踏んでいるのか、本当に利便性に資するものか、あった方が雰囲気が良い と適当に決めていないか、考えて直してほしい。</p> <p>お題目を掲げるのは勝手だが、図書館が何のためにあって、付近の施設とどのように協調していくか、もう一度現実的な視座に立ち返り見つめ直すべき。</p> <p>また、窓の外がすぐ山なのに過度に植栽を配する意味が分かりかねる。</p> | <p>新しい図書館では、これまでの図書館とは、異なるコンセプトでの蔵書構成やサービス展開となりますが、中央図書館や他の分館といった市内にある図書館全体で、利用者の利便性やサービス水準の向上に努めていきます。</p> <p>カフェ・軽食ショップについては、居心地よく滞在できる居場所を創出するため、必要な機能と考えています。今年度行う実施設計では、改めてカフェ事業者等へのヒアリングを行うほか、近隣店舗の状況を踏まえ、無人のセルフカフェ方式を含めた出店の実現性や継続性について、幅広く検討していきます。</p> |
| 18 | <p>新しい図書館ができることを、とても楽しみにしております。子どもがいる立場として、気になった点があり意見をお送りします。</p> <p>ハンモックの設置については、居心地の良い空間づくりとして素敵だと感じました。ただ、小さな子どもがいる家庭では取り合いになりやすく、館内の騒がしさにつながる可能性もあると感じています。</p> <p>我が家にも子どもが3人おりますが、もし館内に設置された場合、「使いたい」「順番」といったやり取りが起りやすく、静かに過ごしたい利用者の方への影響も少し心配になりました。もし設置する場合は、屋外スペースにする、利用ルールを工夫するなど、落ち着いて利用できる環境づくりをご検討いただくと嬉しいです。</p> <p>また、現在の中央図書館についても、駐車場の利用しづらさを感じています。「少し立ち寄って本を借りたい」という利用でも負担感があるため、新図書館では駐車場や乗降スペースなど、アクセス面の充実を期待しています。</p> <p>さらに、公開されているイメージ図では、ベビーカー利用時の通行が少し狭そうに感じました。子ども連れでも移動しやすい導線や配置を意識していただくと、より利用しやすい施設になると思います。</p> <p>新しい図書館をとても楽しみにしております。今後も市民の声を反映した、居心地の良い図書館づくりを期待しております。</p> | <p>新しい図書館では、誰もが心地よく滞在できる居場所とするため、既存の図書館とは違い館内での BGM 再生や大声にならない会話を認めることで、居心地の良い空間を創出したいと考えています。</p> <p>一方で、静かに学習や閲覧を行いたいというニーズもあることから、専用の諸室を設けるとともに施設全体のゾーニング、ルール作りを行っていきます。</p> <p>専用の駐車場および駐輪場については、青梅駅前の好立地ということもあり設けていません。来館いただく際は、公共交通機関の利用を促進するとともに、近隣の民間駐車場や青梅駅自転車等駐輪場の利用を案内していきます。</p> <p>その他の内装設計や管理運営等に関する御意見については、現在検討中のため、参考とさせていただきます。</p> |
| 19 | <p>貸出ししない図書館？</p> <p>意味があつてのことなのでしょうが、私は大反対です。普通の借りられる図書館にして下さい。</p> <p>その他のことに関しては</p> <p>素敵な場所になりそうで嬉しいです(^ ^)</p> <p>それから、この図書館が出来ることは数年前からほぼ決まっていたのに、今頃意見の募集を始めるなんて…動きが遅過ぎる感じます。何らかの理由がありそうですね。マンションの完成と共に図書館が出来ると思っていましたので。</p> <p>辛辣な意見、すみません m(_)_m</p> | <p>既存の図書館では、人気のある本については、2年以上の順番待ちが発生し、読みたいくても読めないという課題があります。新しい図書館では、館内にある図書について貸出は行わず、その場で読んでもらう仕組みとすることで、そのような人気本にも出会える場としています。</p> <p>また、他館蔵書の予約・受取・返却を行えるようにすることで、利用者の利便性を保ちつつ、より魅力ある図書館になると考えています。</p> <p>新しい図書館については、早期に開館できるよう丁寧かつ着実に事業を進めていきます。</p> |
| 20 | <p>市民活動の掲示板、垂れ幕になる長いコピー機、印刷機、パウチ</p> | <p>御意見については、実施設計や管理運営の参考とさせていただきます。</p> |
| 21 | <p>とてもステキな設計です</p> <p>赤ちゃんから大人まで楽しめると思います</p> <p>最近の中高生はタブレット学習なのでコンセントや Wi-Fi は必須ですよ考えられています</p> <p>個人的にはカフェでの読書など楽しみです</p> | <p>新しい図書館では、青梅駅周辺のシンボルとなるよう、こどもから高齢者、地域住民から観光客まで、誰もが交流し、心地よく滞在できる居場所を目指しています。</p> <p>カフェ・軽食ショップについては、居心地よく滞在できる居場所を創出するため、必要な機能と考えています。しかし、これまでに行ったカフェ事業者等へのヒアリングでは、採算性の観点から出店が厳しいという意見も寄せられました。今年度行う実施設計では、改めてカフェ事業者等へのヒアリングを行うほか、近隣店舗の状況を踏まえ、無人のセルフカフェ方式を含めた出店の実現性や継続性について、幅広く検討していきます。</p> |
| 22 | <p>自習室を設置してほしいです。またおそくまで勉強できるように営業時間を夜9時程度まで延長してほしい。特に社会人が使えるように、社会人専用スペースも設置してほしいです。よろしく願います。</p> | <p>御意見については、実施設計や管理運営の参考とさせていただきます。</p> |

| No. | 意見 | 市の考え方 |
|-----|---|---|
| 23 | <p>I.計画概要・整備の背景において、現青梅図書館の設備や機能の老朽化などが喫緊の課題とされているのに、何故移転後は既存図書館とは異なる新しい価値を提供したいのか話の繋がりがわかりません。</p> <p>特に、貸出をしないなど市民に対するサービスの制限が追加されるのであれば、その決定に至る背景として「何故新しい価値を提供したいのか、その狙いやそれにより解決したい課題は何か」「現青梅図書館で実施しているサービスの評価と整理、この場所で貸出を受けたい市民への代替サービスについて」等の記載が必要と思います。</p> <p>新たな本と出会えるように貸出をしないとされていますが、利用者が占有して読書している本には他の利用者が必ず出会えるとはいえず、貸出をしない目的や狙いが不明瞭です。例えば市内の他図書館に所蔵していない大型版の写真集等の持ち運びが難しい資料や、周辺地域を含めた地域資料や観光情報等の読むのにあまり時間の掛からない本を中心に揃え、そうした資料を活用して地域住民から観光客までがより深く青梅を知ることができるような事業を展開していく等の狙いの記載が必要と思います。(例に挙げた程度の狙いであれば貸出をした方がいいとは思いますが)</p> <p>資料をその場で読むしかない図書館において、席の枯渇は現実的に図書館を利用できなくなることとなります。座席数が約100席とありますが、この席数とした根拠や来館者数の見込について、また座席の争奪競争を防ぐような方策(例えば、他自治体図書館で導入されている図書館カードを読み込むことで席を一定時間利用できるようにすることなど)を記載することが必要と思います。</p> <p>整備の背景には子どもから高齢者まで…誰もが心地よく滞在できるとしてありますが、II.コンセプトにおいて乳幼児や高齢者に対するサービスについての記載がありません。例えば乳幼児を伴う家族向けに周囲に気兼ねなく声を出せる場所を「動」のエリアに設けることや、高齢者向けには電子資料の使い方講座等を行い多様な読書の支援に向けた取り組みを行うことなど、子どもや高齢者が心地よく滞在できるための具体策について記載することが必要と思います。</p> <p>II.コンセプト・多様な読書ができる場として座席や芝生、ハンモックといったことのみが書かれていますが、多様な読書とは座る場所のみのことなのでしょうか。例えば視聴覚資料を自宅で再生できない利用者に向けた視聴スペースの提供、電子資料を使い慣れない利用者への操作支援、ストーリーテリングや大型の絵本・紙芝居等を使用したおはなし会の実施、ハンディキャップサービスを求める利用者やその家族に向けた DAISY 資料の利用体験等、真に「多様な読書」を提供する場としてのサービスの実施とその記載が必要と思います。</p> <p>IV.館内イメージにおいて、東側の青梅駅前線道路側に向いた窓から近い位置に書棚があるように見え、図書が太陽光の影響で日焼けすることが懸念されます。書棚を陽の光が直接当たらない場所に設置するか、カーテンやブラインドの設置により資料を守るための対策が必要です。</p> <p>IV.館内イメージにおいて、BDS と職員の所在場所が離れているように見え、資料の盗難対策が懸念されます。実際にカウンターから BDS が見渡せる中央図書館においても資料の紛失は防ぎきれないため、もし市内の他図書館に複本がない独特な資料を所蔵するのであれば、中央図書館以上の盗難対策が必要になります。また、館内の死角が多いため、資料の切り取りなどの行為の防止やラーニングコモンズ等において中高生等が安心して過ごせる対策についても記載が必要と思います。</p> <p>V.平面計画において、利用者用の駐車場や駐輪場が見当たりません。整備の背景に西部地域の拠点を目指すことが掲げられていますが、それであれば西部地域に在住する市民が気軽に行くことができる設備やスペースの整備が必要です。また、現在においても東側の青梅駅前線道路は路上駐車が散見されています。これ以上の路上駐車・駐輪により青梅駅前の環境が悪化しないような対策の実施とその記載が必要と思います。</p> | <p>新しい図書館では、青梅駅周辺のシンボルとなるよう、こどもから高齢者、地域住民から観光客まで、誰もが交流し、心地よく滞在できる居場所を目指しています。</p> <p>既存の図書館では、人気のある本については、2年以上の順番待ちが発生し、読みたくても読めないという課題があります。新しい図書館では、館内にある図書について貸出は行わず、その場で読んでもらう仕組みとすることで、そのような人気本にも出会える場としています。</p> <p>また、他館蔵書の予約・受取・返却を行えるようにすることで、利用者の利便性を保ちつつ、より魅力ある図書館になると考えています。</p> <p>新しい図書館では、これまでの図書館とは、異なるコンセプトでの蔵書構成やサービス展開となりますが、中央図書館や他の分館といった市内にある図書館全体で、利用者の利便性やサービス水準の向上に努めていきます。</p> <p>また、誰もが心地よく滞在できる居場所とするため、既存の図書館とは違い館内での BGM 再生や大声にならない会話を認めることで、居心地の良い空間を創出したいと考えています。</p> <p>一方で、静かに学習や閲覧を行いたいというニーズもあることから、専用の諸室を設けるとともに施設全体のゾーニング、ルール作りを行っていきます。</p> <p>専用の駐車場および駐輪場については、青梅駅前の好立地ということもあり設けていません。来館いただく際は、公共交通機関の利用を促進するとともに、近隣の民間駐車場や青梅駅自転車等駐輪場の利用を案内していきます。</p> <p>その他の内装設計や管理運営等に関する御意見については、現在検討中のため、参考とさせていただきます。</p> |
| 24 | <p>静のエリアと動のエリアの分け方に疑問を感じる。特にキッズコーナーと閲覧スペースが隣接しているのは不味いように思われ、読み聞かせをするキッズコーナーは動のエリアに配置するのが筋だろう。また閲覧スペースに机がないのは不便であり、つとつと学習スペースに移動するのは塩梅が良くない。</p> | <p>新しい図書館では、誰もが心地よく滞在できる居場所とするため、既存の図書館とは違い館内での BGM 再生や大声にならない会話を認めることで、居心地の良い空間を創出したいと考えています。</p> <p>一方で、静かに学習や閲覧を行いたいというニーズもあることから、専用の諸室を設けるとともに施設全体のゾーニング、ルール作りを行っていきます。</p> <p>御意見については、実施設計や管理運営の参考とさせていただきます。</p> |
| 25 | <p>紙芝居作家&実演家として活動している者です。青梅駅周辺は、昭和レトロな雰囲気</p> | <p>御意見については、実施設計や管理運営の参考とさせていただきます。</p> |

| No. | 意見 | 市の考え方 |
|------|---|---|
| (25) | <p>気で有名です。そんな街に、紙芝居はぴったり合います。紙芝居は、子ども向けの教育紙芝居から、高齢者向け紙芝居まで多様なものがあります。</p> <p>また、実演も同じく大変多様で、紙芝居の魅力に惹かれて紙芝居活動をする人は増えています。紙芝居は絵本の読み聞かせとは違って、その名の通り芝居です。子ども達にとって観るのも自分が実演するのも、素晴らしい表現を学ぶ機会となります。また、制作することも出来ます。</p> <p>しかし、紙芝居は子ども達だけのものではありません。鑑賞に充分耐えるものであり、実演する大人の生きがいともなるものです。ぜひ、紙芝居コーナーを充実させて下さい。青梅の街の活性化に繋がると思います。以上、よろしくお願い申し上げます。</p> | |
| 26 | <p>☆書架と書架の間のスペースを広く取って欲しいです。</p> <p>☆下段の本が読みづらいので、出来れば傾斜書架にして欲しいとおもいます。年齢を重ねると膝や腰の具合が悪い方も多くなります。そういう方にとっても、使いやすく勝手もよい傾斜書架の導入をお願いします。</p> <p>☆ただ単に本を探す見つけるだけでなく、また訪ねてみたいと思わせるような、楽しみに満ちた仕掛けを期待しています。青梅駅の直ぐ近くの好立地でもありますし、青梅と言えば、あの図書館と云われるような図書館になるように…。</p> | 御意見については、実施設計や管理運営の参考とさせていただきます。 |
| 27 | <p>「静」のエリアについて。</p> <p>1. 図書館のイメージから考えると、「静」は寡黙なイメージが強いのと思います。キッズ読書コーナーは子どもの声がある程度 OK な印象もありますし、青梅駅前には電車やバスなどの交通機関の往来はもちろんのこと、青梅大祭等のイベントがあり、それなりの音が発生するかと考えられます。学習室・グループ学習室・ラーニングコモンズの各施設において、防音機能はどれくらいあるのでしょうか？</p> <p>2. 図書館法第2条に「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」とあります。運用の方針でまだ詳細は決まっていなからいと思いますが、辞書類(R本)や郷土資料(L本)の設置計画はありますか？</p> | <p>新しい図書館では、誰もが心地よく滞在できる居場所とするため、既存の図書館とは違い館内での BGM 再生や大声にならない会話を認めることで、居心地の良い空間を創出したいと考えています。</p> <p>一方で、静かに学習や閲覧を行いたいというニーズもあることから、専用の諸室を設けるとともに施設全体のゾーニング、ルール作りを行っていきます。</p> <p>また、蔵書については、これまでの図書館とは異なるコンセプトでの構成を考えています。そのため、辞書類や郷土資料を配架する予定はありませんが、中央図書館や他の分館と連携しながら市内の図書館全体で、蔵書の充実に務めていきます。</p> <p>御意見については、実施設計や管理運営の参考とさせていただきます。</p> |
| 28 | <p>動のエリアでくつろいで本を読みたい場合は、本を静のエリアで借りて、動のエリアへ持ち込むという流れでしょうか？</p> <p>本を一時的に手に取って読みたい場合は静のエリア内で読んで本を元の場所に戻す。そうしないと、本が紛失してしまうと思います。</p> | 御意見については、実施設計や管理運営の参考とさせていただきます。 |
| 29 | <p>■現在の青梅図書館の蔵書数から3万冊減になるのはなぜですか？</p> <p>■飲食スペースを設けるのはわかりますが、物を食べながら読むのは本が汚れる原因を増やすだけになると思うため、やめた方がいいと思います。</p> <p>■現在の青梅図書館は建物の敷地内に無料で利用できる駐車場があり、雨天時、小さい子どもを複数連れて行く時、家族分の冊数を借りる(と20~30冊になってしまう)時など大変助かっています。新図書館にも、徒歩3分以内の場所に図書館利用者が無料で利用できる駐車場の完備をお願いします。</p> <p>■閉館時の返却ボックスは1階に設置してもらえると助かります。</p> | <p>蔵書については、誰もが心地よく滞在できる居場所となるよう、利用者のニーズを想定し新たに選書していきます。施設面積の関係から館内の蔵書数は2万冊としておりますが、予約取寄せサービスを活用することで、市内にある約63万冊を借りることができます。</p> <p>専用の駐車場および駐輪場については、青梅駅前の好立地ということもあり設けていません。来館いただく際は、公共交通機関の利用を促進するとともに、近隣の民間駐車場や青梅駅自転車等駐輪場の利用を案内していきます。</p> <p>その他の内装設計や管理運営等に関する御意見については、現在検討中のため、参考とさせていただきます。</p> |
| 30 | 古文書講座を常設講座として開催していただきたいです。 | 御意見については、管理運営の参考とさせていただきます。 |
| 31 | 中央図書館と同じくらい、学習スペースを設けてください。夏は涼しく、冬は暖かく過ごしやすい室温を保ってください。 | 御意見については、実施設計や管理運営の参考とさせていただきます。 |
| 32 | <p>新しく図書館が出来ること大変嬉しく、喜ばしいことと思います。河辺に図書館がありますが、図書館であって図書館でないような感じがいつもしております。近隣の(あきる野、日の出)図書館に行くとき温度管理であったり、設置方法に大きな違いがあり、地元でありながらももっと何かかならないのかと常に感じております。例えば新聞がありますが、一度見に行ってください。</p> <p>青梅の新聞が一番汚いです。置き方が(棚)悪いのです。あきる野なんか立てて置いてあるので、夕方行っても綺麗です。ただ置けばいいのではなく、そこら辺を考えて置いていただくといいのでは。</p> <p>あと棚も低すぎます。高いのに変えればもっと置けるし、綺麗に見えます。見え方も大切です。イスの配置も悪いし、もっと座りやすいものに変えないと。三階に大きなテーブルがあり、6人がか座れるのがありますが、真ん中についたてがありますが、なんであんな中途半端な物を設置するのか？顔をあげれば向かいの顔が見える。</p> <p>そんな物を設置してはダメでしょう。そんなのは設置しないでください。近隣の図</p> | 御意見については、実施設計や管理運営の参考とさせていただきます。 |

| No. | 意見 | 市の考え方 |
|------|--|---|
| (32) | <p>書館を見てください。そんな変なのはありません。何が言いたいのか・・・</p> <p>新しい図書館を作るんなら、素晴らしいと言われるような使い易い(別に高価な物を揃える必要はないが)ものにしてください。河辺なんかただ広い机が置いてありますが、無駄です。そらこ辺を考えて設置してください。物を置く時に市民の声を聞いてください。青梅にもなんか一つ素晴らしい物を作りましょうよ。自然とマラソン以外は魅力のない街と言われぬように！！お願いします。</p> <p>現在の青梅の図書館は落ち着きません。あきる野や日の出はなんか落ち着く、図書館らしい空間です。是非そんなものを作ってくださいませ。</p> | |
| 33 | <p>新図書館計画に関するパブリックコメントとして、特にバリアフリーとインクルーシブデザインの観点から意見を述べます。</p> <p>現在公開されているバリアフリー計画については、視覚障害者の立場から見ても内容が抽象的であり、具体性が不足していると感じます。そのため、バリアフリーに関する詳細な計画や設備内容を、より具体的に公開していただくことを強く要望します。</p> <p>視覚障害者への配慮は、単に点字ブロックを設置すれば良いというものではありません。音声案内、触知案内、わかりやすいカラーデザイン、案内サイン、照明環境など、多角的な配慮が必要です。どれか一つを満たせば良いのではなく、複数の要素を組み合わせることで初めて安心して利用できる環境になります。</p> <p>また、図書館は「建物に入れる」だけでなく、「読書や情報にアクセスできる」ことが重要です。そのため、対面朗読サービス、サピエ図書館の案内や活用支援、拡大読書機の設置などについても、計画段階から検討する必要があります。</p> <p>さらに、点字ブロックについては、新図書館入口周辺のみでは不十分です。青梅駅から新図書館まで安全に移動できる導線を確保することが重要であり、駅から接続する形での整備を求めます。</p> <p>そして何より重要なのは、完成までの過程において、様々な立場の人々から継続的に意見を集め、実際の現場で確認を行うことです。障害当事者、高齢者、子育て世代、車椅子利用者、外国人など、多様な利用者の声を計画へ反映させる仕組みを作るべきです。完成後に問題が発覚し、後から修正を行うことほど無駄なことはありません。計画段階から実際の利用者が関わる必要があります。</p> <p>また、意識していただきたいのは「ユニバーサルデザイン」だけでなく、「インクルーシブデザイン」の導入です。有識者のみで考えるユニバーサルデザインではなく、実際の当事者が議論に参加し、多様な人々が意見を出し合いながら共に作り上げていくインクルーシブデザインの考え方を、ぜひ新図書館計画に取り入れていただきたいと強く願います</p> | <p>新しい図書館では、青梅駅周辺のシンボルとなるよう、こどもから高齢者、地域住民から観光客まで、誰もが交流し、心地よく滞在できる居場所を目指しています。設計に当たっては、東京都福祉のまちづくり条例で掲げるユニバーサルデザインの理念を踏まえ、異なる世代や背景を持つ人々が使いやすい施設・サービスになるよう検討していきます。</p> <p>御意見については、実施設計や管理運営の参考とさせていただきます。</p> |
| 34 | <ul style="list-style-type: none"> ●本と出会える場、来て、見て、読んで、貸し出しはせず、予約重複防止を計る等、他館の本の貸出・返却の手続きを円滑に行うための努力が望まれます。 ●特集本のわかりやすい配置が望まれます。 ●中高生の利用促進のためのスペースが望まれます。 ●多摩産材を利用した椅子、長椅子状のベンチ確保。 ●エレベーターの利用の円滑化。 ●青梅を発見できる地域の出版物、配布用資料の確保。 ●音声データ、映像データの収集、イベント、地域民謡等の資料収集。 ●観光パンフレット等の収集。 ●寄贈本の整理整頓。 ●バーコードのない自費出版本の受け入れ拡大 ●多摩地域の図書館の広域利用の簡素化。 ●野生動物等の侵入防止策を講じる。(カラス等の鳥獣、熊等の動物) ●図書館利用者の自転車放置の防止策を講じる。 | <p>御意見については、実施設計や管理運営の参考とさせていただきます。</p> |